令和５年度

中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業

事業実施報告書
概要

令和６年３月

中央開発株式会社

令和５年度 中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業

事業実施報告書 概要

目次

中南米日系農業者団体位置図
【１】事業内容 1
(1) 事業名 1
(2) 事業目的 1
(3) 事業履行期間 1
(4) 事業内容 1
(5) 事業担当部局 1
(6) 事業実施体制 2
(7) 事業実施スケジュール 3
【２】事業実績 4
事業実績一覧 4
主な成果と課題 5
事業実施結果概要 8
(1) 事業推進委員会の開催 8
1. 第１回事業推進委員会 8
2. 第２回事業推進委員会 11
(2) 日系農業者等連携強化会議の開催 13
1. 第１回日系農業者等連携強化会議 13
2. 第２回日系農業者等連携強化会議 16
(3) 訪日農業技術研修、ウェビナーの開催及び専門家派遣 22
(3)① 日系農業者訪日技術研修（日本への招へい） 22
1. 土壌コース 24
2.「ブランディング」コース 27
(3)② 日系農業者等ウェビナー（オンライン） 30
(3)③ 農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修（中南米現地） 31
(4) 日本企業と日系農業者等とのビジネスマッチング 38
(4)① 農林水産業・食産業分野における日・中南米産学官交流のための招へい事業 38
(4)② ビジネス交流の実績調査 44
(5) 中南米現地におけるビジネスセミナーの開催 45
(6) 官民合同の二国間会議の開催 48
(7) 日系農業者等に関するデータベースの構築 48
(8) 中南米への食産業展開・輸出促進セミナー（GFVC 中南米部会）の開催 51
(9) 必要な調査等 55
(10) 情報発信等 55
(11) 会議等の記録・報告 56

中南米日系農業者団体位置図

メキシコ Mexico
㊺イアグロス社
Impulso Agroalimentario Sustentable

コロンビア Colombia
㊹ミカン社
Mikan

ペルー Perú
㊷エスキベル農畜産物生産者協会
Asoc. Productores Agropec. de Esquivel
㊸ペルー日系人協会カニェテ
Asoc. Peruano Japonesa de Cañete

ボリビア Bolivia
㊵コロニアオキナワ農協
Coop. Agropec. Int. Colonia Okinawa
㊶サンフアン農協
Coop. Agropec. Int. San Juan de Yapacani

パラグアイ Paraguay
㉝アマンバイ農協
Coop. Amambay Agricola
㉞ラパス農協
Coop. La Paz Agricola
㉟ピラポ農協
Coop. Pirapó Agricola
㊱コルメナアスンセーナ農協
Coop. Agro-Ind. Colmena Asuncena
㊲イグアス農協
Coop. Yguazu Agricola
㊳パラグアイ農牧総合試験場
Fundación Nikkei CETAPAR
㊴パラグアイ日系農協中央会
Central Coop. Nikkei Agricola

アルゼンチン Argentina
㉚ハルディンアメリカ生産者組合
Coop. Yerbateros de Jardin América
㉛メルコフロール花卉生産者組合
Coop. Prod. Flores y Plantas Mercoflor
㉜エコフロール花卉農協
Establecimientos Coop. Floricolas

ブラジル Brasil
パラ州 PA
①トメアス農協
Coop. Agr. Mista de Tomé-Açu
②トランスアマゾニカ農協
Coop. Agroindustrial da Transamazônica
③ｻﾝﾀｲｻﾞﾍﾞﾙ･ｻﾝﾄｱﾝﾄﾆｵﾄﾞﾀｳｱ組合
Sind. Prod. Rur. de S. Isabel do Pará e S. Antônio do Tauá
ペルナンブコ州 PE
④ノバアリアンサ農協
Coop. Agr. Nova Aliança
ミナスジェライス州 MG
⑤スルミナス農協
Coop. Agr. Sul de Minas
⑥セラードブラジレイロ農協
Coop. Agroneg. Cerrado Brasileiro
⑦サンゴタルド地域協議会
Conselho da Região de São Gotardo
⑧アルトパラナイーバ農協
Coop. Agropec. Alto Paranaíba
マットグロッソドスル州 MS
⑨バルゼアアレグレ農協
Coop. Agr. Mista da Várzea Alegre
⑩スルマットグロセンセ農協
Coop. Agr. Sul Matogrossense

ブラジル Brasil
パラナ州 PR
㉔ウニオンカストレンセ農協
Coop. Agr. União Castrense
㉕ポンタグロッセンセ農協
Coop. Agr. Pontagrossense
㉖インテグラーダ農協
Integrada Coop.Agroindustrail
㉗ビトゥルナマテ茶協会
Ass. Biturunense da Erva Mate
サンタカタリーナ州 SC
㉘サンジョアキン農協
Coop. Agr. São Joaquim
㉙ラーモス果樹生産者地域連合
União Regional dos Produtores de Fruta

ブラジル Brasil
サンパウロ州 SP
⑪イビウナ農協
Coop. Agropec. de Ibiúna
⑫モジダスクルーゼス農村組合
Sind. Rural de Mogi das Cruzes
⑬南伯グランデサンパウロ農協
Coop. Agr. Sul Brasil da Gde. SP
⑭APPC 農協/サンパウロ州柿生産者組合
Coop. APPC/Ass. Paulista Produtores de Caqui
⑮南伯ピラールドスル農協
Coop. Agr. Sul Brasil Pilar do Sul
⑯南伯サンミゲールアルカンジョ農協
Coop. Agr. Sul Brasil de São Miguel Arcanjo
⑰レジストロ日伯文化協会
Ass. Cultural Nipo-Brasilera de Registro
⑱カッポンボニート農協
Coop. Agr. de Capão Bonito
⑲グアタパラ農協
Coop. Agr. de Guatapará
⑳JATAK 農業技術普及交流センター
Inst. Pesq. Tec. e Difusão Agropec. da JATAK
㉑バストス地域鶏卵生産者協会
Ass. Produtores de Ovos de Bastos e Região
㉒弓場農場
Ass. Comunidade Yuba
㉓ブラジル農協婦人部連合会
Ass. dos Departamentos de Senhoras Cooperativistas

【１】事業内容

(1) 事業名

令和５年度中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業

(2) 事業目的

（１）中南米には約 230 万人の日系人が在住しているが、近年、現地の日系人社会の大宗を占める世代は二世から三世、四世へと移り変わり、世代交代が進む中、日系人としてのアイデンティティが薄れることによる日本との交流の希薄化も懸念されている。一方、若い世代の日系人からは、日本の先進的農林水産業や食産業への関心も寄せられているところ。

（２）中南米地域はブラジルをはじめ世界の食料市場への一大供給地であり、日本にとっても食料安全保障上、重要な国であることから、引き続き良好な関係を維持・強化する必要がある。

（３）また、我が国の「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」では、2030 年までに５兆円という輸出額目標を設定しているところ、中南米地域は日本食への関心や認知度が高く、潜在的に日本食、日本食材への需要があることから、日系人等との連携等により我が国農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組を行う必要がある。

（４）このため、本事業は、我が国の食料安全保障の確保及び農林水産物・食品の輸出促進の観点から、日本との間で移住協定が締結されたブラジル、アルゼンチン、パラグアイ及びボリビア並びにペルー、コロンビア、メキシコ、ドミニカ共和国、ウルグアイなどの中南米各国で農業・食産業に携わる日系人及びその関連組織並びにその関係者・関係機関等（以下「日系農業者等」という。）と我が国の連携・交流を推進・強化することを目的とする。併せて我が国の農林水産業・食産業分野の技術・ノウハウを活用した中南米におけるフードバリューチェーンの構築を通じ、我が国食産業の中南米への展開を推進し、海外需要の獲得を目指すものとする。

（５）具体的には以下に掲げる取組を行い、農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出や日系農業者等との連携交流の強化、日本の農林水産物・食品の輸出促進を図ることとする。

① 日系農業者等との連携強化
② 現地の若手リーダー育成や先端技術による生産性向上の支援
③ 中南米への戦略的ビジネス環境整備

(3) 事業履行期間

令和５年６月 21 日から令和６年３月 22 日まで

(4) 事業内容

(1) 事業推進委員会の開催
(2) 日系農業者等連携強化会議の開催
(3) 訪日農業技術研修、ウェビナーの開催及び専門家派遣
(4) 日本企業と日系農業者等とのビジネスマッチング
(5) 中南米現地におけるビジネスセミナーの開催
(6) 官民合同の二国間会議の開催
(7) 日系農業者等に関するデータベースの構築
(8) 中南米への食産業展開・輸出促進セミナー（GFVC 中南米部会）の開催
(9) 必要な調査等
(10) 情報発信等
(11) 会議等の記録・報告

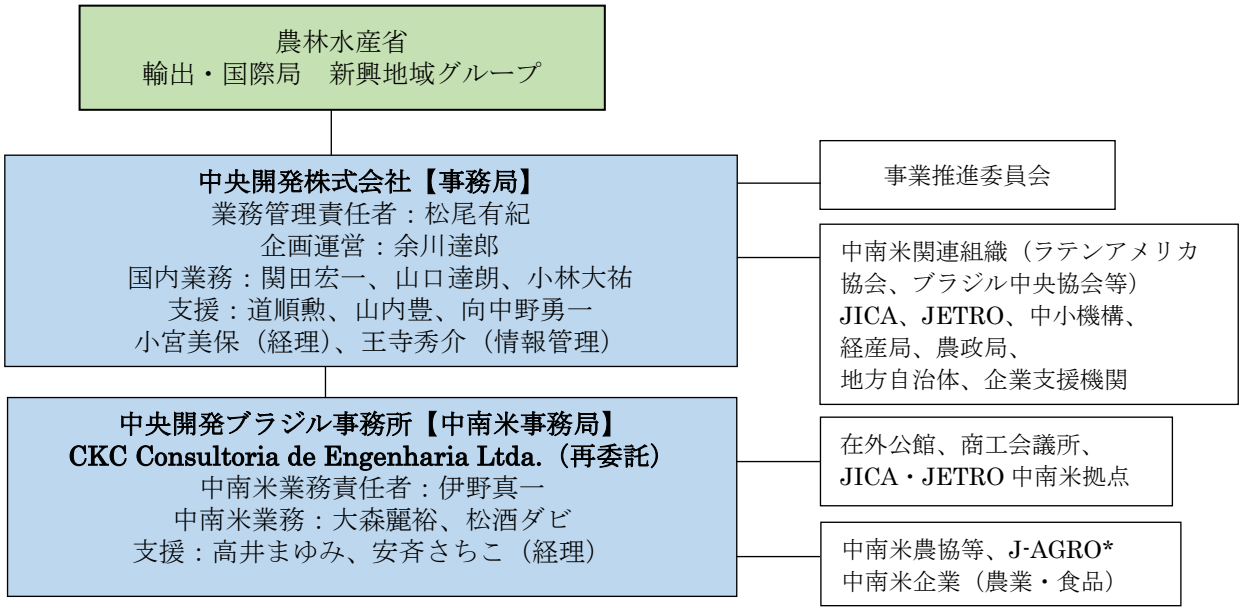
(5) 事業担当部局

農林水産省 輸出・国際局 新興地域グループ

(6) 事業実施体制

事業実施においては、中央開発株式会社グローバルセンターが事業全体の本部事務局となり、事業実施の責任部局として、農林水産省 輸出・国際局 新興地域グループとの調整を行った。中南米側ではブラジル・サンパウロにある中央開発ブラジル事務所に、ブラジルを中心とした中南米における会議・研修等の調整・運営業務を再委託し、中南米各国との連絡・調整を行い、円滑な運営に取り組んだ。業務従事者は日本語およびポルトガル語もしくはスペイン語で意思疎通のできるスタッフを中心に配置した。

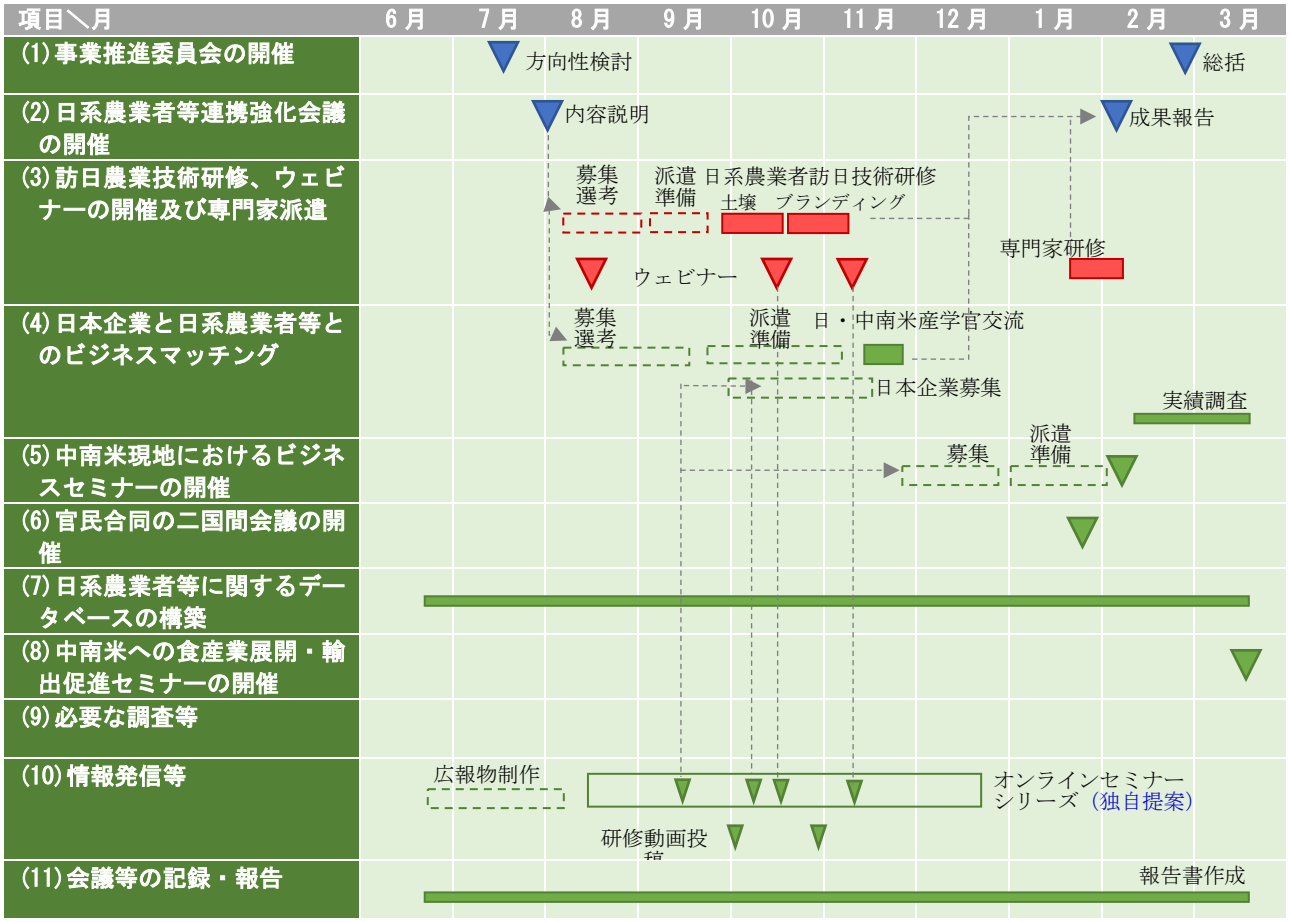
また、事業推進委員会から事業運営の上での助言をもらうと共に、国内の中南米関連組織・公的機関との連携を図り、事業周知やセミナー・産学官交流会開催の際に協力を得た。中南米側では日系農業者の実情・要望に沿った事業運営とするため、中南米農協や過年度事業の研修生を中心としたグループである J-AGRO の代表メンバーから各国の意見聴取を行いながら事業を実施した。さらに、中南米の在外公館や商工会議所、JICA・JETRO 等の中南米拠点とも連携をしながら事業運営を行った。



* J-AGRO：過年度の本事業訪日研修参加者を中心として情報交換等を目的に作られたグループ

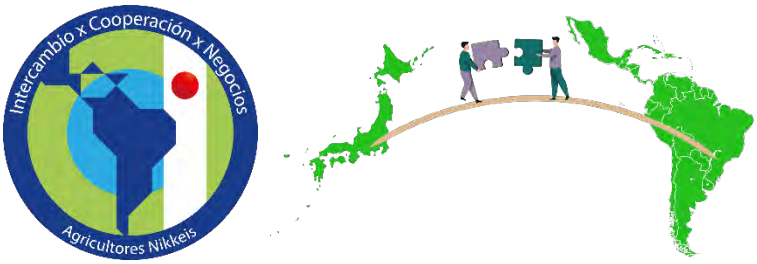
(7) 事業実施スケジュール

本年度事業を以下のスケジュールで実施した。



【２】事業実績

令和５年度 中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業



事業実績一覧

実施項目		場所	参加者	期間
(1)	事業推進委員会の開催			
	第１回	東京	14 名	令和５年７月 24 日
	第２回	東京	13 名	令和６年２月 29 日
(2)	日系農業者等連携強化会議の開催			
	第１回	オンライン	123 名	令和５年８月１日
	第２回	アスンシオン・オンライン	98 名	令和６年２月２日
(3)	訪日農業技術研修、ウェビナーの開催及び専門家派遣			
	①日系農業者訪日技術研修（日本への招へい）			
	土壌コース	日本	6 名	令和５年９月 30 日～10 月 20 日
	ブランディングコース	日本	6 名	令和５年 10 月 21 日～11 月 10 日
	②日系農業者等ウェビナー（オンライン）			
	ヤマカワプログラム	オンライン	63 名	令和５年８月 14 日
	土壌コース報告会	オンライン	37 名	令和５年 10 月 18 日
	ブランディングコース報告会	オンライン	39 名	令和５年 11 月８日
	③農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修（中南米現地）	コロンビア ブラジル パラグアイ	288 名	令和６年１月 19 日～２月７日
(4)	日本企業と日系農業者等とのビジネスマッチング			
	①農林水産業・食産業分野における日・中南米産学官交流のための招へい事業	日本	10 名	令和５年 11 月 10 日～11 月 25 日
	②ビジネス交流の実績調査		3 社	令和５年６月～令和６年３月
(5)	中南米現地におけるビジネスセミナーの開催	サンパウロ	47 名	令和６年１月 31 日
(6)	官民合同の二国間会議の開催	日本	ブラジル	令和６年１月 25 日
(7)	日系農業者等に関するデータベースの構築	—	45 団体	令和５年６月～令和６年３月
(8)	中南米への食産業展開・輸出促進セミナー（GFVC 中南米部会）の開催	日本	79 名	令和６年３月 19 日
(9)	必要な調査等	—	—	—
(10)	情報発信等	—	—	令和５年６月～令和６年３月
(11)	会議等の記録・報告	—	—	令和５年６月～令和６年３月

主な成果と課題

■訪日事業に合計 22 名が参加

◆ 日系農業者訪日技術研修「土壌コース」6 名、「ブランディングコース」6 名

◆ 日・中南米産学官交流「アグリ・フードビジネス」10 名

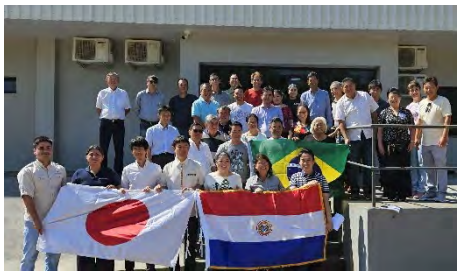
◆ 農業・食産業分野で日本と中南米の連携強化

■連携強化会議をパラグアイで開催

◆ 日系農業者等連携強化会議をブラジル以外での初の開催

◆ 対面式とオンライン方式を組み合わせたハイブリッド形式（合計 98 名が参加）

◆ 日系農業者同士の交流を促進



■微生物による土壌環境の改善

◆ 令和 3 年度から継続してヤマカワプログラムの土壌環境改善を研修事業で扱い普及に貢献

◆ 日系農業者訪日技術研修「土壌コース」と、専門家派遣によるフォローアップ指導

◆ 土壌改良の目に見える効果により、中南米各地の日系農業者の間でヤマカワプログラムの実践者増加

■ペルー産冷凍マンゴー輸出で成約

◆ 産学官交流に参加したペルー事業者が日本の商社から冷凍マンゴーの正式な発注（アボカドも商談中）

◆ その他、産学官交流参加者が商談継続中（ブラジル x 植物工場企業、ブラジル x 蕎麦輸入商社）

◆ メキシコの機能性食品輸入は、発注した有機緑茶や有機紅茶をメキシコで受領し、事業を拡大予定

■産学官交流会を開催し、日本企業と交流

◆ 産学官交流会 in 福岡と産学官交流会 in 東京を計 2 回開催

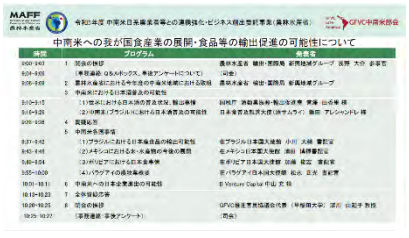
◆ 産学官交流参加者が、中南米に関心を有する日本企業 37 社と交流

■日本の農林水産物・食品の輸出促進

◆ パラグアイビジネスセミナー（農業・食産業）とブラジル日本食セミナーをオンライン開催

◆ 日本企業 3 社が中南米現地におけるビジネスセミナーに参加

◆ GFVC 推進官民協議会中南米部会に 79 名が参加



■本事業の連携強化による日系農業者等の独自の動き

◆ ヤマカワプログラムへの注目が高まり 2023 年 8 月に独自のスタディーツアー開催（費用は参加者負担）

◆ パラグアイ日系農協が 2024 年 2 月にブラジル・ピラールドスルの APPC 農協を訪問し技術交流

◆ ボリビアのコロニアオキナワ農協の青年部が 2024 年 2 月にコロンビアの日系農業者を訪問し技術交流

■今後の課題

◆ 対面式（会議・研修）は参加人数が限られるため、オンライン会議・SNS を活用した情報共有・発信によって、事業効果を一層拡大する必要がある

◆ 単発に終わらず一貫したテーマ設定で事業の各取組を行うことが重要であるため、事業内の各取組を連携・継続させて事業成果の拡大を図ることが望ましい

◆ より多くの日本企業・中南米事業者に本事業によるビジネスマッチングを案内し、ビジネスマッチングの精度をさらに高めることが必要

◆ 早い段階で実施計画を立てることで、準備期間を長く確保すると共に、中南米での交流事業への自主的な参加者を増やすことができる可能性がある